

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 イベント・コンベンション開催支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域振興課 地域プロモーション係 電話番号：058-272-1111(内2542)

E-mail：c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,760 千円 (前年度予算額： 11,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000
要求額	10,760	0	0	0	0	0	0	0	10,760
決定額	10,760	0	0	0	0	0	0	0	10,760

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

大規模イベント・コンベンションの開催は、経済波及効果が高く、県内地域経済の活性化に寄与するため、観光消費額、宿泊者数の拡大につながる、大規模イベント・コンベンションの開催に対して支援していく必要がある。

(2) 事業内容

県では、即効的な景気対策、県情報の発信及び地域活性化に寄与するため、イベント・コンベンションの開催に対し積極的に支援している。

特に大きな経済波及効果が期待できる大規模イベントや大規模コンベンションの開催を支援するため、これらの開催事業費に対し、補助金を交付する。

○大規模イベント

- ・ 1万人以上の集客があるイベント

○大規模コンベンション

- ・ 本県を含む3県以上から200人以上の参加があり宿泊を伴うもの

○エクスカージョン (アフターコンベンション)

- ・ コンベンション後の観光・視察等で参加者が100人以上のもの

(3) 県負担・補助率の考え方

県内地域経済の活性化を図るため、観光消費額、宿泊者数を拡大していくには県負担が必要。

○大規模イベント

・補助対象事業費に2分の1を乗じた額、もしくは1千万円のうち低い方の額

○大規模コンベンション

・国内参加者1人2,000円、外国参加者1人5,000円を乗じた額の合計、もしくは3百万円のうち低い方の額

○エクスカージョン（アフターコンベンション）

・1人あたり1,000円を乗じた額

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,260	大規模コンベンション (9件)
負担金	500	大規模イベント (1件)
合計	10,760	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県成長・雇用戦略2017

[6] 観光産業の基幹産業化プロジェクト

岐阜県ならではの周遊・滞在型観光を定着させることで、観光消費のさらなる拡大、ひいては観光産業の基幹産業化を目指す。

(2) 後年度の財政負担

コンベンション等開催の経済波及効果を勘案しながら、制度の継続を検討していく。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	イベント・コンベンション開催支援事業費補助金
補助事業者（団体）	イベント・コンベンションの開催を通じて地域の活性化を図るため、法人、任意団体、個人を問わず、基準を満たすイベント・コンベンションを主催する者 （理由）経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に開催・誘致するため、イベント・コンベンションを主催する者を補助事業者とする。
補助事業の概要	（目的）（内容）経済波及効果の大きいイベント・コンベンションを積極的に開催・誘致し、即効的な景気対策や情報発信及び地域活性化に資する。
補助率・補助単価等	その他 （内容）国内の参加者について一人当たり2,000円を乗じた額と外国からの参加者について一人当たり5,000円を乗じた額の合計、若しくは3,000千円のうち低い方の額 等 （理由） イベント・コンベンションの開催に直接必要となる経費の一部を補助することにより、経済波及効果の大きいイベント・コンベンションの県内誘致を図るため。
補助効果	観光消費額、宿泊者数の拡大につながる。
終期の設定	終期 令和6年度 （理由） 3年ごとに見直しを図るため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>岐阜県成長・雇用戦略2017 〔6〕観光産業の基幹産業化プロジェクト 岐阜県ならではの周遊・滞在型観光を定着させることで、観光消費のさらなる拡大、ひいては観光産業の基幹産業化を目指す。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①誘致したコンベンション等による経済効果（観光消費額）	—	12,012 千円	118,704 千円	79,835 千円	—	—

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	8,061	3,000	1,152

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 大規模イベント・コンベンションへの開催支援により、県内観光消費額の拡大に寄与することができた。
	指標① 目標：308,567千円 実績：36,412千円 達成率：11.8 %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 大規模イベント・コンベンションへの開催支援により、県内観光消費額の拡大に寄与することができた。
	指標① 目標：283,971千円 実績：12,707千円 達成率：4.5 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	大規模イベント・コンベンションの開催は経済波及効果が高く、県内で開催することで地域経済の活性化に寄与することができるため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 1	新型コロナウイルス感染症の影響によりコンベンションの中止や延期、縮小を余儀なくされたが、オンライン形式と対面形式のハイブリッドで実施する開催方法が定着しつつあることや、主催者側の対面開催、現地開催に対する要望は根強くあることからアフターコロナを見据えて開催支援を実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	まとまった集客や参加者を見込める大規模なイベント・コンベンションに絞って財政支援を行うことにより、効率的に観光消費額や宿泊者数の拡大につなげている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県が財政支援をする以上、大規模イベント・コンベンションの主催者に対し、岐阜県で開催することの価値をいかに示すことができるかが重要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 経済波及効果の大きい大規模イベント・コンベンションを誘致することで、即効的な景気対策や情報発信及び地域活性化に資するため、今後も継続していく必要がある。
--